

対象国の条件: 包括的核実験禁止条約(CTBT)の未署名・未批准の発効要件国を中心に選択

研修コース番号: 201902862-J001

案件番号: 201902862

主分野課題: 防災/地震災害対策

副分野課題:

使用言語: 英語

案件概要

包括的核実験禁止条約(CTBT)の早期発効を目指す我が国として、核実験探知のための監視ネットワークに将来従事することが可能となる人材を育成するため、受講生にグローバル地震観測分野の技術及び知識を紹介する研修を1995年より実施。研修の主な対象者をCTBT未署名・未批准の発効要件国からの参加者とすることで、CTBT早期発効を目指す日本政府の取組の一環となっている。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 包括的核実験禁止条約(CTBT)の下、核実験探知観測網において重要な役割を果たすためのグローバル地震観測分野における最新の技術及び知識を習得する。</p> <p>【成果】 1. 包括的核実験禁止条約(CTBT)の検証体制と国際監視制度(IMS)における地震学の役割を理解する。 2. 核実験探知や自然地震解析に必要なグローバル地震観測技術を習得する。 3. 核実験を自然地震から識別するデータ解析技術を習得する。 4. 自国の課題解決に向けた帰国後の行動計画を作成する。</p>	<p>【対象組織】 ・国際的な核実験監視ネットワークで重要な役割を果たすことが期待される行政官。特にCTBT発効要件国で未署名・未批准の国。</p> <p>【対象人材】 1. 応募者在国政府からの推薦を受けた者 2. 大学卒又は同程度の資格を有するもので、地震学分野で3年以上の経験を有する者。 3. 微分・積分を含む基礎数学に精通している者。 4. 十分なコンピューターの知識を有している者。 5. 45歳以下の者 6. 十分な英語力(目安として、TOEFLCBT173以上 又はIBTスコア61以上あること。) 7. 心身共に健康で、支障なく研修生生活を送ることができる者。</p>	
<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>【事前活動】 グローバル地震観測分野に係る自国の現状と課題を整理し、インセプションレポートとして取りまとめる。</p> <p>【本邦研修】 本邦研修】 講義、演習、視察等を通じて、グローバル地震観測分野に係る最新の技術、知識を習得する。 (1) CTBT, IMS概論・地震学に関連するCTBT体制概論, 包括的核実験禁止条約機関(CTBTO)に講義, 演習, 視察等を通じて, グローバル地震観測分野に係る最新の技術, 知識を習得する。 (2) 地震観測, National Data Center・地震計, 地震観測網, 観測点選定, 観測網設計・Auto Data Request Manager, National Data Center (3) 地震波データ処理, データ解析技術, 核実験識別法・UNIX概論, 遠地地震波検測, 震源決定, 震源メカニズム, 地震波アレイ解析, 地震活動とテクトニクス, mb-Ms核実験識別法, 等 (4) アクションプランの作成・発表</p>	<p>本邦研修期間</p>	<p>2020/01~2020/03</p>
	<p>担当課題部</p>	<p>地球環境部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>筑波センター</p>
	<p>関係省庁</p>	<p>外務省</p>
	<p>実施年度</p>	<p>2019~2021</p>

<p>主要協力機関</p>	<p>国立研究開発法人建築研究所</p>
<p>特記事項及びホームページ</p>	<p>国際地震工学センター http://iisee.kenken.go.jp</p>